

この資料は説明会当日にも配布したものです。

慶應義塾大学大学院 法務研究科（法科大学院）

入学説明会 よくあるQ & A

慶應義塾大学法科大学院

学生部法務研究科（法科大学院）担当

Tel: 03-5427-1778

e-mail: lawjm@info.keio.ac.jp

入試に関するお問い合わせ

e-mail: ls_admissions@info.keio.ac.jp

ホームページ: <http://www.ls.keio.ac.jp/>

入試 編

質問	学部成績はどのように評価されるのですか？単位に応じた評価がなされるのですか？大学や学部に応じた格差は設けるのですか？
回答	「A」や「優」に限らず、すべての成績評価を対象として、いわゆるGPAに近いものを算出します。大学や学部も多様であり、また成績評価の方法も様々ですが、慶應LSで独自の基準によって平準化の上、算出しています。学部時代の努力を公平に評価するため、社会人経験者でも新卒者でも同じ基準で成績評価します。

質問	学部成績の不可の取り扱いはどのようになっていますか？
回答	不可（不合格）科目は換算対象から外しています。

質問	外国語能力証明書を提出する場合、直近（6月、7月頃）の外国語能力試験を受けて最新の實力で応募したいのですが、その場合、公式成績証が出願期間に間に合いません。追完してもらえますか？
回答	すべての提出書類を、締め切りまでに出していただく必要があります。原則として追完は認められません。

質問	昨年度入試に関して、合格最低点などの公表は予定されていますか？今後、より詳細な採点基準などを公開する予定はありますか？
回答	昨年度のものについては公表の予定はありません。今後については、現在検討中です。

質問	推薦状をその他の資料として提出することは可能ですか？
回答	可能です。様式は指定しません。志願者報告書の記載事項を裏づける資料等として用います。

質問	志願者報告書の「職歴」欄には何を記載すればよいのですか。アルバイト等も記載するのですか？
回答	原則として卒業後の職歴を想定しています。定職についている場合にはそれらをすべて記載して欲しいのですが、アルバイトは志願者の方の判断で必要だと思ふ範囲で記載すれば構いません。

質問	入試ではどのような六法を用いるのですか？
回答	2013年度入試において大学が用意したのは、『法科大学院試験六法（第一法規）』です。

上記の他にも、入学者選考に関するFAQをウェブサイトに掲出しています。
<http://www.ls.keio.ac.jp/nyushi/faq.html>

質問	シラバス(講義要綱)や時間割は閲覧できますか？
回答	シラバス(講義要綱)は https://gslbs.adst.keio.ac.jp/ にて Web 閲覧が可能です。 今年度の時間割については http://www.ls.keio.ac.jp/ 「授業関連」に PDF としてアップしています。

質問	奨学制度について具体的に教えてください。
回答	入学試験成績優秀者に対して、授業料を全額免除します。その他の学生には、2014 年度は授業料として一律 40 万円を給付しますが、2015 年度以降の奨学給付制度としてはまだ決定しておりません。その他の奨学金に関しては入試要項に記載される内容をご確認下さい。 なお、その他の奨学金については学生部福利厚生支援(03-5427-1570)に問い合わせして下さい。

質問	国際交流について、海外の L S との提携はありますか？
回答	慶應義塾での交換協定があります。また法科大学院独自の提携を様々な大学と行っています。ただ、在学中の留学は司法試験等のタイミングの問題もあり、今までは難しいと考えられていましたが、学内成績と司法試験の合格とが関連付けられつつあり、近い将来は在学中の留学も十分考えられます。日本の L S を卒業した後に、海外の L S に入学するケースが多いようです。 2013 年度から、ギャップターム(司法試験終了後、司法修習開始前の半年間)を活用して、修了生を対象に、春学期の後半に英語での授業科目を履修することが可能になりました。また、アメリカのロースクール(ワシントン大学)のサマーコースを受講するというグローバル化プログラムもあります。

質問	国際交流の具体的な内容はどのようになっていますか？
回答	当面は、提携のロースクールで履修した科目を、こちらで単位認定するという程度に留まると思われま。将来的には、LLMの取得、それを踏まえて慶應LSで履修した科目(英語科目)による単位認定等についても考えていますが、現在のところ具体化はしていません。授業料については現段階では確定的なことは言えませんが、塾全体の協定のほとんどは相互主義のため、慶應LSで授業料を払ってれば、相手方で払う必要はありません。

質問	法学未修者への授業補助など特別な対応はあるのですか？
回答	正規の授業科目の受講に支障が生じている学生を対象に、本法科大学院修了生を講師とした学習支援ゼミや個別学習相談会を設置しています。ともに三田法曹会の若手弁護士を講師とし、アドバイスをを行います。授業で理解出来なかった点の質問、学習方法だけではなく、将来の進路等についても幅広く指導を行います。 なお、学習支援ゼミについては Web 上でシラバスが閲覧できます。

質問	ベーシック・プログラム、ワークショップ・プログラムは履修できないということもありうるのですか？
回答	自分の希望するプログラムにエントリーは出来ますが、それぞれ定員が決まっており、人数を超える場合には、履修者調整を行う可能性があります。その意味では履修出来ない事態もありえます。 また、その他の科目でも履修者数を制限し、授業を行う場合もあります。

質問	他大学との単位互換はありますか？
回答	早稲田LS、一橋大学大学院との単位互換を行っています。両大学院でいくつかの科目を提供し合い、履修が可能となっています。

質問	研究者を志す者をどのように位置づけていますか？
回答	実務家養成機関ではありますが、これからの研究者は実務を踏まえた上で研究を行うことが要請されています。理論と実務の架橋とされる所以です。 自ら選択したテーマについて、法科大学院の指導教授の下、リサーチペーパーを作成することが可能です。在学中のみならず、修了後にも科目等履修生として、リサーチペーパーを作成することも出来ます。

質問	自習室、ロッカーについてはどのようになっていますか？
回答	個人用ロッカーは、一人に一個用意しています。自習室は固定席ではなく自由席です。自習室の開館時間は、月～土が8：30～23：00まで、日・祝が8：30～21：00まで開館しています（時間短縮あり）。夏休みや春休みも開館していますが、年末年始等は閉室しています。

質問	司法試験を通ったとしても就職が厳しい状況ですが、どのような就職支援を行っていますか？
回答	三田法曹会（任意）に入ること、慶應出身の法曹であるOBやOGとのつながりがうまれます。また、法科大学院生向け就職情報サイト「ジュリナビ」への登録や、在学生・修了生向けに企業・官庁説明会などを随時開催しています。

質問	エクスターンシップはどうなっているのですか？
回答	希望者を対象に夏休みの期間に実施しています。現在は、法律事務所、法テラス、官庁・企業へ派遣し、合格者は単位(1単位)を取得します。派遣された学生の報告書は、南館1階学生部法務研究科窓口（平日8：45～16：45）にて閲覧することができます。 【2012年度夏の派遣実績】 法律事務所：88箇所/112名派遣 法テラス：11箇所/17名派遣 官庁：4箇所/5名派遣 企業：11社/11名

質問	司法試験の対策はどうなっているのですか？
回答	答案練習は行いません。授業の中で、必要な力を養うことが出来ると考えています。授業を真面目に受けて、良い成績を修めていけば、それがそのまま司法試験の合格に繋がります。授業中に、様々なかたちで法的文書の作成能力を高めるための教育的配慮を行っています。

質問	慶應LSでの成績と司法試験の合格率の相関性はありますか？
回答	これまでの相関関係は、慶應LS HP「修了生の方へ」(http://www.ls.keio.ac.jp/graduate/result.html)に「司法試験の結果を踏まえて」(pdf)として公開されていますので、そちらを参考にしてください。

質問	慶應LS修了後から司法試験受験までの期間は、自習室等は使えないのですか？
回答	希望者には修了後の4月～5月の2ヵ月間、自習室やロッカー、学内ネットワークを利用できる特別研修生という制度を整えています。また、修了生でも履修可能な科目を一部春、秋それぞれに開講し、科目等履修生として、在籍が可能です。

質問	慶應LSの授業見学は出来ますか？
回答	慶應LSでは授業見学などは行っていませんが、慶應大阪シティキャンパスでは、慶應LS専任教員による法学を学ぶ講座の開催を予定しています。 (http://www.korc.keio.ac.jp/) TEL：06-6359-5547（平日9:30-17:30）